

自主貢献

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 平成29年11月2日(木)

発行者 学校長 梅澤 薫

所在地 神奈川区西寺尾三丁目10番1号

電話 401-3644 FAX431-0244

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikidai/>

文化祭を終えて

文化祭実行委員長 稲川 尚子

今年度は、「The sky is the limit ～響け希望のハーモニー～」というスローガンを掲げ、合唱コンクールの練習に取り組みました。体育祭が終わってから文化祭も成功させよう、やりきろうと必死に練習しました。文化祭実行委員は毎日クラス以外の文化祭実行委員会での仕事もこなしながら、本当によく頑張りました。文化祭実行委員がいなければ、今年度の文化祭の成功はありませんでした。本当にありがとうございました。

今年度の文化祭も2日間に渡り開催され、盛り上がることができました。

1日目、日頃の学習の成果や文化部の活動を見ることができ展示見学。その後、開祭式が行われました。

文化祭実行委員によるスローガン唱和と吹奏楽部によるファンファーレで、華々しく開祭されました。その後、有志に



によるステージ発表。得意のダンスや演奏で会場を盛り上げてくれました。クラスの合唱練習以外の時間で練習を重ね、努力の成果が現れた素晴らしい発表でした。文化祭実行委員によるビデオ上映もありました。台本も実行委員が考え、2日目の合唱コンクールへの激励も交えた楽しい劇でした。

みんなが楽しみにしていたPRビデオもよくできていました。見ている人が楽しめて、合唱曲についての解説もしっかり

りできており、どのクラスも工夫を凝らして作られていました。そして今年度も職員による出し物として劇「泣いた赤鬼」を発表させていただきました。『仲間を大切にすることをテーマにクラス全員で心を一つにして、合唱コンクールやこれからの学校生活を送ってほしい。会場にいる全員が錦台のなかまだ！月曜の合唱コンクールもみんなでがんばるぞ！』という気持ちを込めました。先生たちも遅くまで残って準備や練習をしました。





いよいよ合唱コンクール当日、23日月曜日は心配していた台風が関東地方を直撃しました。今年度は川崎市教育文化会館という初めての会場での開催で、早い時期から準備をしてきました。生徒たちも2000人も入る大きなホールに歌声を響かせることを楽しみに、一生懸命練習してきました。当日もギリギリまで開催できるように考えましたが、暴風警報が発令されていたので断念せざるを得ませんでした。本当に残念でした。

しかし、次の日に体育館で開催することができました。体育館での良さもあり、慣れた場所で思い切り歌うことができたと思います。1年生の発表は少し緊張しているようにも見えましたが、どのクラスも元気いっぱい、明るく、爽やかな歌声を披露してくれました。続いて2年生。練習の様子ではクラスで意見がまとまらず、苦勞したことがたくさんあったようで心配でしたが、昨年よりパワーアップして、どのクラスもしっかり歌えていました。男子の低音が響くようになり、ハーモニーも安定してきたように思いました。そして3年生。今年の3年生は全クラスが一生懸命、真剣に取り組んでいました。私は何度も合唱コンクールを見てきましたが、全クラスがこんなに必死に練習した学年はなかったと思います。音楽の授業にもついつい熱が入り、もっともっと上手くなるように難しいことを要求しました。授業時間が伸びても全員が集中して歌っていたのが本当にすごいと思いました。本番のステージは本当に素晴らしかったです。会場に響くハーモニーの美しさ、声量、音楽的な表現力。何よりも熱い想いを感じました。中学校生活最後の行事を盛り上げよう、想いをもってやろう、という気持ちが3年生の歌声から伝わりました。



本番の日を迎えるまでには仲間同士でぶつかったり、涙を流したりと各クラスにドラマがあったと思います。苦勞して一つの物を仕上げることで、クラスの団結力が深まり、また仲間の大切さも実感できたことと思います。さて、来年度は創立60周年の文化祭です。「The sky is the limit (限界はない)」今年度のスローガンのように新しいことに挑戦して、錦台中学校の文化祭がさらに素晴らしい行事に発展していくことを期待しています。

最後になりましたが、文化祭を実施するにあたり、さまざまな場面でのご理解、ご協力、ありがとうございました。今後とも、錦台中学校をよろしく願っています。

